

穴馬レーダー式馬券術
-馬場・気候ファクター編サンプル-

■馬場ファクター予想術その1「その馬が走った過去の馬場状態を確認する」

競馬天気サイト上では馬場ファクターの印が◎～×まで計6種類で表示されます。もちろんこれは予想をする上で考慮すべき重要な部分なのですが、さらに一步踏み込んでほしいところがあります。

それは「その馬が走った過去の馬場状態を確認する」ということ。

競馬というのは前走着順の良い馬から順に人気になっているようなものですが、それがフロックなのか、裏付けのあるものなのかを判断するのは予想者であるファン。つまり、その判断さえできていればオッズや人気に惑わされることなく精度の高い予想をすることが可能になるのです。

たとえば、Aという馬とBという馬がいたとします。その日の馬場状態は良馬場、それも高速馬場とされる京都競馬場の開幕週です。

【A】3走前→8着（京都・良馬場）、2走前→3着（札幌）、前走2着（阪神・重馬場）

【B】3走前→3着（京都・良馬場）、2走前→5着（札幌）、前走8着（阪神・重馬場）

成績だけを見れば、当然Aの馬が人気を集めることでしょう。ただし好走した近2走は時計のかかる洋芝&重馬場。京都・良馬場の3走前は8着に敗れていました。

対するBは、近走着順こそ悪いですが京都・良馬場の3走前は3着。近2走が時計のかかる馬場だったことを考えれば、この条件替りで巻き返す可能性ありと判断することができるのです。

■馬場ファクター実践編

【2012年11月25日 東京9R キャピタルS】

1枠1番ロードバリオス（16番人気）

1枠2番ライブコンサート（13番人気）

2枠3番ファイアーフロート（4番人気）

2枠4番レッドデイヴィス（10番人気）

3枠5番モンスター（11番人気）

3枠6番ブレイブファイト（17番人気）

4枠7番セイクリッドバレー（12番人気）

4枠8番オセアニアボス（14番人気）

5枠9番アプリコットフィズ（7番人気）

5枠10番ヤマニンウイスキー（10番人気）

6枠11番シルクアーネスト（5番人気）

6枠12番ブライトライン（9番人気）

7枠13番クラレント（2番人気）

7枠14番ゴールスキー（8番人気）

7枠15番スマイルジャック（3番人気）

8枠16番トーセンレーヴ（1番人気）

8枠17番アブソリュート（15番人気）

8枠18番サンディエゴシチー（6番人気）

このレースのポイントは以下の通り。

- ・開催後半の東京芝で、イン有利馬場
- ・人気馬は外枠に集中、かつ差し脚質の馬

パッと見た印象で、これは荒れるだろうなあというのはすぐに感じました。人気には近走着順が大きくかかわってきますが、それを踏まえた時に1番人気トーセンレーヴは前走11着、2番人気クラレントは2走前が8着。2戦以上続けて好走した馬はサンディエゴシチーのみというメンバー構成でした。

ここで活用すべき馬場ファクター予想術は「その馬が走った過去の馬場状態を確認する」。

大波乱の立役者となったヤマニンウイスキーの近3走馬場状態は以下の通りでした。

- ・ 3走前→重馬場
- ・ 2走前→洋芝
- ・ 前走→ダート

そして、レース結果はというと・・・

- ・ 1着ヤマニンウイスキー
- ・ 2着シルクアーネスト
- ・ 3着トーセンレーヴ
- ・ 4着クラレント
- ・ 5着モンストール

ちなみに良馬場を使われた4走前は上がり3ハロン2位の脚を使っていました。正直なところ勝ち切るとまでは思いませんでしたが、まったく気にする必要のない馬、というわけでもなかったのでしょうか。

軸馬についても触れておきましょう。

フルゲートかつ人気馬に不安要素ありというレースでは大きく振り回しがちですが、軸馬という観点で考えると「上から順に人気を見ていき、もっとも不安のない馬が軸」という考え方が正解と言えます。トーセンレーヴに枠の不安、クラレントに連チャンが利かない不安があるとすればその逆の性質を持つ馬を軸にすれば良いと。

東京芝 1600mでの連チャン経験があり、その2頭より内側の枠に入ったシルクアーネスト軸がここでは正解だったのでしょ。

■気候ファクター予想術その2「前年同時期の成績を知る」

「競馬新聞は捨てずにとっておけ」という競馬の格言があります。これは非常によくできた格言で、競馬の予想をレベルアップさせるいろんな要素が詰まっているんですね。

たとえば、前年の馬場状態。

馬場に関しては【馬場ファクター編】で述べるとして、その週の馬場が前残り馬場だったのか、外差しだったのか・・・確かにこの部分は過去の競馬新聞が教えてくれるものです。

そしてもうひとつ、その時期にどういった馬が好走していたのか。

「季節馬は繰り返す」というのが気候ファクター予想術の根幹となる部分であり、前年好走馬というのは絶対にマークすべき存在。有名どころでは冬のガルボやコスモセンサー、夏のパドトロワやエクスペディションがありますが、平場にまで目を向けるとこの手の前年好走馬はゴロゴロいます。

また、これと同時に前年同時期に凡走していた、いわゆる「この時期危険な人気馬」も見つけることができます。回収率を考えた時に人気馬をどう扱うかは重要な項目なので、穴馬発掘と同時に人気馬の見極めをできるという利点が前年同時期の成績にはあるのです。

■気候ファクター実践編

【2012年1月22日 京都11R 平安S】

1枠1番インバルコ（7番人気）

1枠2番スタッドジェルラン（5番人気）

2枠3番サイレントメロディ（12番人気）

2枠4番プリンセスペスカ（14番人気）

3枠5番クリーン（16番人気）

3枠6番アドマイヤロイヤル（2番人気）

4枠7番タカオノボル（11番人気）

4枠8番トウショウフリース（3番人気）

5枠9番シルクシュナイダー（6番人気）

5枠10番タガノロックオン（4番人気）

6枠11番グランドシチー（8番人気）

6枠12番ヒラボクキング（10番人気）

7枠13番レーザーバレット（9番人気）

7枠14番キクノアポロ（13番人気）

8枠15番エスポワールシチー（1番人気）

8枠16番ピラニハイウェイ（15番人気）

このレースのポイントは以下の通り。

- ・有力馬の多くは前走JCD組または師走S組
- ・人気上位馬に前年同時期凡走馬が多数

エスポワールシチーが単勝1.3倍の支持を集めたレース。この馬を負かす馬はいるのか？というのがポイントですが、有力馬の多くが前走同レースを走り、かつ人気上位馬に前年

同時期凡走馬が多数いた点が気がかりでした。

ここで活用すべき馬場ファクター予想術は「前年同時期の成績を知る」。

真冬のダート重賞である平安Sは冬馬が活躍する舞台。前年の勝ち馬・ダイシンオレンジには前年同時期の京都ダート1800m勝利実績がありました。「第二のダイシンオレンジを探す」ことが重要だったのです。

そして、レース結果はというと・・・

- ・ 1着ヒラボクキング（昨年同時期の京都ダート1800m勝利実績馬）
- ・ 2着エスポワールシチー
- ・ 3着シルクシュナイダー
- ・ 4着スタッドジェルラン
- ・ 5着インバルコ

エスポワールシチーを下す大金星を飾ったヒラボクキングは出走馬中唯一の昨年同時期の京都ダート1800m勝利実績馬。同馬はその前の年も同時期の京都ダート1800m勝利実績があり、生粋の「冬の京都ダート1800m巧者」だったというわけです。

その他人気馬についても触れておきましょう。

同レース連対歴もあるエスポワールシチーはここで逆らう理由はないでしょう。一方で危険な人気馬と判断できるのは昨年同時期の好走歴がないトウショウフリーク、タガノロックオン。気候ファクター印上位馬＋第二想定気候◎のシルクシュナイダーを押さえておけばそう難しくない馬券だったと言えるでしょう。

★続きは本編で！馬場・気候ファクターを用いた穴馬レーダー式馬券術を今すぐ手に入れてください！

↓↓↓

<https://keibatennki.jp/pc/regist.php#purchase>

（穴馬レーダー！競馬天気ログイン中の会員の方は一度ログアウトしてからアクセスしてください）